

第4学年西組 道徳の時間 学習指導案

学習指導者 片岡 亜貴子

- 1 主題名 友達のことを考えて [親切・思いやり]
- 2 ねらい 相手の気持ちを推し量り、思いやりの心をもって、親切的な行為を行おうとする態度を育てる。
- 3 資料名 ししゅうのあるセーター (香川県小学校道徳教育研究会『ともに生きる』4年)
- 4 ねらいとする道徳的価値と、それに関わる子どもたちの実態

よりよい人間関係を築くためには、お互いが相手に対する思いやりの心をもって接することが不可欠である。自分のことばかりを優先させるのではなく、相手の立場を考えたり、相手の気持ちを想像したりすることを通して、励ましたり、援助したりする等の親切的な行為を自分から進んで行えるようになることが大切である。

本学級の子どもたちは、3年生からクラスが替わっておらず、互いの性格をある程度理解し合い、仲よく過ごせている。しかし、反抗期を迎え、中には周りから言われたことに対して反発したり、友達の素っ気ない態度に傷ついたりする子どもも数名見られる。これまで、子どもたちは、学級目標「心をかよわせ ともにのびよう」の下、「友達の心」と「自分の心」の双方を大事にすることの大切さを道徳の授業や特別活動で学習してきた。道徳の授業に加えて、普段から互いのよさを見つけてカードに記して伝え合わせたり、友達との関わりを通しての気づき等を「ひまわりノート」に書きためさせたりすることで、自分の心の成長を可視化して振り返ることができるようにしている。本実践を通して、相手の気持ちを推し量って考えることで、相手の存在を受け入れ、自分から進んで親切的な行為をしようとする態度を育てていきたい。

- 5 学習意欲を育て、他者と協働して考え続けるための働きかけ

(1) 体験・経験を生かして、自分と資料をつなぐ

子どもたちは登場人物と同じような経験をしていても、資料を読んですぐにその経験を思い出すことは難しい。そこで、ジュースをこぼして服を汚されたけい子とよく似た経験が自分たちにもあったことを想起させるために、「ひまわりノート」の記録を基にして、習字道具の片付けをしている時に墨をこぼされた場面をイラストで提示する。「自分にもけい子と同じような経験があったな。その時は、～な気持ちだったな。」等というように自分とけい子を重ね、自分のこととしてけい子の気持ちを考えていけるようにしたい。

(2) 集団内の多様な立場の存在を明らかにする

子どもたちは日頃から、友達に対して優しく接することができている。そのため、失敗した母を気遣う父の姿が書かれた資料一を読んだ後、ゆきえを許せるかどうかという教師の問いに対して、「許せる」と回答する子どもが多いと予想される。そこで、質問紙調査の結果から、相手を「許せた経験」「許せなかった経験」のある人数とその理由をそれぞれ提示し、違う立場の友達がいることや、同じ立場でもその理由には多様さがあることに気付かせる。

(3) 迷いを実感したり多様な価値観を比較したりする

まず資料一を読んで、大切なセーターを汚したゆきえに対して「許せる」気持ちと「許せない」気持ちがあることを確認し、対立軸として板書に示した後、「あなたがけい子の立場なら、ゆきえを許せますか。」と問いかけ、どちらかの気持ちを選択させる。その際には、「許せる」「許せない」二つの気持ちの割合を視覚的に捉えられるようにした「心情メーター」を用いて心の中の複雑な思いを表出させ、その理由を話し合わせる。さらに、けい子の服を汚してしまったことを思い悩むゆきえの姿が書かれた資料二を読んだ後には、再び二つの気持ちの割合を「心情メーター」で表出させる。「ゆきえの苦しみが分かって考えが変わった。」等と自分の考えが前と変わった理由を伝え合う中で、相手の気持ちを推し量ることの大切さに気付かせていく。

6 学習指導過程

学 習 活 動	子どもの意識	教師の働きかけ
1 資料一を読み、学習のめあてをつくる。	<ul style="list-style-type: none"> 大切なセーターをゆきえに汚されて、けい子はすごく怒っているよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 怒っていたけい子も、最後にはゆきえを許した話であることを伝える。
なぜけい子さんはゆきえさんを許すことができたのだろう		
2 自分ならゆきえを許せるかどうかを心情メーターに表し、その理由を話し合う。 <つなぐ> <多様な立場> <多様な価値観>	<ul style="list-style-type: none"> 習字の墨をこぼされて、物を汚されたことがあったな。僕もけい子と同じだな。 わざとしたのではないから、私がけい子ならゆきえを許せる気持ち大きいと思うけれど、心の中はすっきりしないだろうな。 たくさんの人が、相手を許した経験があるんだな。でも許せた理由は僕とは違っているよ。 けい子がゆきえを許した理由もいろいろあるのかな。みんなの考えを聞いてみたいな。 お父さんの姿を見て、物よりも相手の心の方が大切だと気付いたから、ゆきえを許したと思うよ。 大切なセーターを汚されたら、許せない気持ちの方が大きいよ。 	<ul style="list-style-type: none"> 習字の墨がこぼれて物が汚れた出来事のイラストを提示して、けい子と同じような経験を想起させる。 「心情メーター」を用いて、許せる気持ち、許せない気持ちを2色で表現させることで、二つの感情での迷いや多様な価値観を表出できるようにする。そして、板書上に名前磁石を貼らせ、全員の考えを表出させる。 質問紙調査の結果から、相手は「許せた経験」「許せなかった経験」のある人数と理由をそれぞれ提示し、同じ立場でも理由はさまざまであることに気付かせる。 再度、「心情メーター」に自分の考えを表現させて、板書上に新たに名前磁石を貼らせ、活動2の時と比較しながら自分の考えが前と変わった理由を語れるようにする。
3 資料二を読み、ゆきえを許せるかどうかを再度心情メーターに表し、活動2から変化した理由を話し合う。 <多様な価値観>	<ul style="list-style-type: none"> 悲しい気持ちになったのは、ゆきえも同じだったと分かって、許せる気持ちが少し大きくなったよ。 相手の気持ちを考えようとするのが大切なんだね。 相手の気持ちに気付けば、けい子が自分からゆきえに優しい声掛けをしたように、自分も親切な行動ができるかもしれないな。 	<ul style="list-style-type: none"> ◎本時の学習を振り返り、「大切にしたい心」と授業の感想をノートに書かせる。感想を書く際の視点を示したカードを提示することで、本時ねらう内容項目に照らして、今の自分を振り返りながら感想を書けるようにする。
4 本時を振り返り、まとめをする。	<ul style="list-style-type: none"> 私が大切にしたい心は、相手の気持ちを考えて行動する心だよ。 これまでの自分は、相手の気持ちまでは考えていなかったな。これからは、相手の気持ちも大切にしたい、思いやりのある行動ができるようになりたいな。 	

7 評価

相手の気持ちを考えて行動することでよりよい人間関係が築けることを知り、今の自分を振り返って、自分のよさやこれからの課題を見つけている。 [道徳ノート、発言]

ししゅうのあるセーター

め なせけい子さんはゆきえさんをゆるすことができたのだろう。

ゆきえ

けい子

ゆるせない

くやしくてくやしくて
もう二度と遊ぶものが

大事なセーターだから
セーターはもと通りにはならない
気持ちが
ささりしない

はっと気がついた

お父さん 大事なセーター
お母さん せめてお母さん
お父さん 悲しい気持ち
お父さんに早くお父さんに早く
お父さんはんを

わがごとではない
必死にあやまってくれた

お父さん 大事なセーター
お母さん せめてお母さん
お父さん 悲しい気持ち
お父さんに早くお父さんに早く
お父さんはんを

相手をおもひやり
思いやる

ゆるせる

おはよう。
もういいわよ。
しみもだいたい
とれそう

とても悲しい
どうしよう
どつしたりゆるして
くれるかな
学校に行きたくない
泣いているかも

おはさん
何て言えはいいの
おはさんを悲しませる

おはさん
おはさん
おはさん

相手を思いやり
おたがいが笑顔になれる行動
をすすめる
相手の気持ちを考えよう...













ゆるせる

ゆるせない